

冬の贈り物

看護科支部 林 千加子

2011年4月より看護科支部長の任を受けました。同窓会を盛り上げるべく微力ながら頑張りたいと思います。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

さて、松丘会会長の小郷先生(臨床検査科)よりリレーエッセイのバトンを渡され、今回は私が担当させていただきます。突然ですが、皆さまはどの季節がお好きですか？

若葉眩しく希望に満ちあふれる春、太陽輝くエネルギッシュな夏、落ち葉のしっとりとした香を感じる秋、そして厳しくも美しい冬、どの季節も素敵ですがあえて選ぶとしたら...

私は冬です。

生まれも育ちも岡山県南ですが、2月の私が生まれた日は、めずらしく雪が降っていたそうです。父が面会のため病院に行くのに苦労した、ということを知りました。そのためでしょうか、私は雪に対する思い入れがあるようです。初めてスキーを経験したのは看護師3年目の頃でしたが、その頃は大変なスキーブームでした。私はといえばスキーはさておき、目に入る風景すべてが真っ白な雪というシチュエーションにひとり感動したことを、今でもはっきりと覚えています。それ以来、毎年スキーに行くようになりましたが、目的の半分は、雪の中で過ごす充実感を求めてです。その証拠にスキーの腕は全く上がっておらず、最近では転倒して骨折する始末です。

そこで、私が好きな冬風景を少しご紹介します。猛烈に寒いスキー場に出現するきらきらと輝くダイヤモンドダスト、スキーリフトの上から見たウサギ、テン、キツネなどの楽しそうな足跡、氷点下の積雪でかなうパウダースノーが舞うゲレンデ、雪をかぶって少し重そうな木々、スキーグローブの上に舞落ちた雪の結晶、どれも冬の贈り物として本当に素晴らしいものです。

数年前からスキー場に隣接するホテルでしかも温泉付きという贅沢スキーを満喫していますが、いつか雄大な自然の中でスキーがしてみたい、できればクリスマスシーズンのヨーロッパアルプスで、とひそかな野望を持ちつつ、しばらくは貯金に勤しむ予定です。

今回は、放射線技術科支部長の荒尾信一さんに原稿をご依頼致します。